

## 選定に際してのご注意

### ⚠警告

相線式(1φ2W、1φ3W)・回路電圧に合わせて選んでください。  
感電事故の防止ができません。

### ⚠注意

単相3線式の漏電遮断器は、必ず中性線欠相保護付を選んでください。  
異常電圧が発生し電気器具を損傷する恐れがあります。  
不要な動作を防止するため、「住宅の電気設備推奨基準 第5版」にしたがってください。



## 施工に関するご注意

1. 住宅用分電盤  
単相3線式の場合、単相200V電気器具が容易に採用できるように、200Vの予備回路を設けておくことが望ましい。  
予備回路、分岐ブレーカの設置スペースを確保しておく。
2. 漏電遮断器  
住宅用分電盤には、必ず漏電遮断器を施設する。  
単相3線式電路に施設する漏電遮断器は、中性線欠相保護機能付きのものを原則とする。
3. 分岐回路  
分岐回路数は、住宅の広さに応じて下表の値以上とする。
  - ・ は大容量電気器具用などの専用回路を示す。
  - ・ 電気利用の変化に対応できるように、200V回路及び100V回路各1回路以上の予備回路を設ける。

- ・ 専用分岐回路の必要な大型電気器具については、下表のほかに別の専用分岐回路を設ける。  
なお、電気器具の種類によっては、200V回路を設ける。
- ・ 分岐回路は、電灯用とコンセント用に分けることが望ましい。
- ・ 深夜電力機器など電気契約種別の異なるものは、別個の専用回路を設ける。  
専用分岐回路
- ・ 10Aを超える大型電気器具は、専用回路で使用する。また、とくに大型の場合は200V分岐回路を適宜設ける。
- ・ 一般に専用分岐回路で使用する電気器具としては、次に示すようなものがある。  
電子レンジ、電気レンジ、食器洗い器、電気暖房器、エアコン、衣類乾燥機、洗浄便座など

住宅の広さ	必要最小回路数	望ましい回路数							
		計	内訳		の例				
			照明	一般コンセント		衣類乾燥機	エアコン	洗浄便座	電子レンジ
台所	以外	台所	以外						
50m <sup>2</sup> (15坪)以下	3	5+	1	2	2	1	1~3	1	1
70m <sup>2</sup> (20坪)以下	4	7+	2	2	3	1	1~3	1	1
100m <sup>2</sup> (30坪)以下	5	8+	2	2	4	1	1~5	1~2	1
130m <sup>2</sup> (40坪)以下	6	10+	3	2	5	1	1~6	1~2	1
170m <sup>2</sup> (50坪)以下	8	13+	4	2	7	1	1~7	1~2	1

社団法人家庭電気文化会発行「住宅の電気設備推奨基準」第5版より抜粋。